

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-145	小学校	算数科	算数	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 606	小学算数 6		

## 1. 編修の基本方針

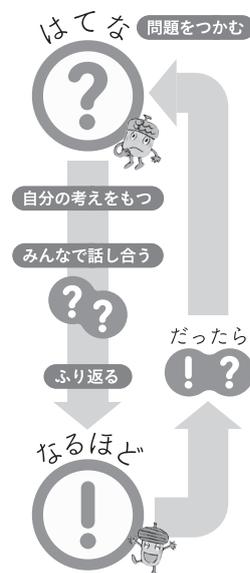
社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

本書は、教育基本法が掲げる教育の目的及び目標の実現に向けて、以下の基本方針のもとに執筆・編修にあたりました。

## 問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる

- 1** 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて  
**子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書**
- 2** 思考力・判断力・表現力の育成のために  
**数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書**
- 3** 生きて働く知識・技能の習得のために  
**学びと学びを系統的につなげる教科書**
- 4** 学びに向かう力、人間性等の涵養のために  
**学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書**



# 1

## 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて 子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書

深い学びは，“問い”をもつことから始まります。“問い”をもち、学び合いを通して解決することで、学ぶ前よりも一歩成長することができます。そのような子ども一人一人の深まりを大切に、教科書を構成しています。

### 問いの連続でつくる数学的活動

子どもの<sup>はてま</sup>“**？**”から学習めあてをつくり、主体的・対話的な学びを通して“**問い** <sup>？？</sup>”を深め、<sup>なるほど</sup>“**！**”を見だし、さらに、<sup>だったら</sup>新たな“**問い** <sup>！？</sup>”へとつなげていきます。

学習めあてとなる子どもの問い

学びを深める問い

見方・考え方のまとめから、  
新たな問いへ

はるさんは、通用紙の枚数を調べようとしています。「枚ずつ数えて調べるのは大変そう〜」

はるは、全部の枚数を、簡単に調べることはできないのかな。

**4** 通用紙がたくさんあります。これを1枚ずつ数えずに、全部で何枚あるかを調べる方法を考えましょう。

枚数を数えるかわりに、ほかの量を使って求められないかな。

枚数にもよって変わる量は？

問題をつつむ

調べることは何かかな。

はるは、枚数と重さは比例します。だから、全部の枚数は10gを調べることで求められます。

枚数(枚)	10	20	30	...	?
重さ(g)	94	188	282	...	2444

ゆき

ゆきさんの考えで、□にあたる数はどのように求めればいいのか。

はる

友だちはどう考えているかな。

**3** 学習をふり返りましょう。

はるは、全部の枚数を数えるの大変だけど、比例の関係を使うと簡単に調べることができるね。

枚数に比例する量はほかにもあるよ。

はる

友だちから

**！？** 重さ以外の量を使って、枚数を調べることはできるのかな。

はる

▲ p.125-127

### 「単元のまとめ」で学ぶ意義を実感する

単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしています。

単元末「学んだことを使おう」では、単元で学習したことを日常場面に活用することで、「何ができるようになったのか」を実感できるようにします。

単元導入

**8** どの学習活動はより楽しかったか？

身のまわりのこと、とても変わることがいろいろあります。

何が変わると、どう変わる？

待ち時間はどれくらい？

はる

ゆき

▲ p.116

単元末

待ち時間はどれくらい？

はるさんは、ソフトクリーム屋の待合にいます。

① はるさんは、行列が長いのに10分以内の待ち時間で帰っていきながら、あまの待合も行列が長いのに10分以上待たされました。どんなことがかわかれば、待ち時間が変わりますか？

② この行列で、3人買いのソフトクリームを2人分を買った。はるさんとゆきさんは、あと12人並んでいます。あまの待合で、はるさんとゆきさんが帰るまで待たされる時間は、はるさんとゆきさんが帰るまで待たされる時間と同じくらいですか？

▲ p.136

単元導入

**10** どの学習活動はより楽しかったか？

おいしいソフトクリームができたので、もっとたくさん作ることにしました。

同じ味を作ろう！

はる

ゆき

▲ p.149

単元末

写真から身長を求めよう！

① はるさんが入学した時の身長を求めよう。はるさんの身長は150cmです。入学した時の身長は？

② はるさんが入学した時の身長を求めよう。はるさんの身長は150cmです。入学した時の身長は？

③ はるさんが入学した時の身長を求めよう。はるさんの身長は150cmです。入学した時の身長は？

▲ p.157

# 2

## 思考力・判断力・表現力の育成のために 数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書

数学的な見方・考え方を顕在化し、繰り返し用いてきていることを意識づけることにより、課題を解決したり探究したりする際の手段として、子どもが主体的に活用していけるようにします。

### 数学的な見方・考え方

「算数で使いたい考え方」として、単純化、一般化、統合、発展といった**数学的な考え方を子どもの言葉で示し、自分で考えたり、友だちと学び合ったりする際に使っていけるようにします。**

また、「算数のミカタ」として、**各領域を貫く数学的な見方にも着目できるようにし、以降の学習で繰り返し用いていきます。**

▶ p.57

**算数のミカタ**

分数をかける計算では、これまでに学習した分数×整数の計算をもとにして考えるために、次のような数の見方をしました。

● かける数の分母を1にして、整数の計算とみる。

$$\frac{4}{5} \times \frac{2}{3} = \frac{4 \times 2}{5} \div 3$$

$$\frac{4}{5} \times 2 = \frac{4 \times 2}{5}$$

小数のかけ算でも似た見方を使ってさね。

学習のマップ  
p.238 算数のミカタ

**算数で使いたい考え方**

算数で使いたい考え方として、子どもが主体的に活用していけるようにします。

① 算数で使いたい考え方

② 算数で使いたい考え方

③ 算数で使いたい考え方

④ 算数で使いたい考え方

▶ p.6

### 読解力・表現力

全国学力・学習状況調査のB問題では、記述式問題に課題がみられます。そこで、他者の説明をもとに場面や数値を発展させて説明し直したり、不十分な説明を修正・改善したりする活動を取り入れ、**筋道を立てて説明する力を育てるようになっています。**

**よきよし集**

② ゆきさんは、「しんらでいれるらら」という目標に向けて、今度のよきよし集の準備をしっかりやりたいと思っています。

ゆきさんが担当するのは、約でゲームです。

目的の大きさや、おのづから用いて、この目を中心から10cmずつ底切っていきます。この円全体の面積は何cm<sup>2</sup>でしょうか。

ゆきさんは、25点の部分の面積が、50点の部分の面積の何倍になるかを考えて、次のように説明しました。

50点の部分の面積  
 $10 \times 10 \times 3.14 = 100 \times 3.14$

25点の部分の面積  
 $20 \times 20 \times 3.14 = 100 \times 10 \times 3.14 = 1000 \times 3.14$   
 $= 300 \times 3.14$   
 $(300 \times 3.14) \div (100 \times 3.14) = 3$   
 $\div 3.14 \quad \div 3.14 \quad \text{等しい}$   
 $300 \quad \div 100 \quad = 3$

ゆきさんと同じようにして、10点の部分の面積が、50点の部分の面積の何倍になるかを説明しましょう。

③ 算数で使いたい考え方

④ 算数で使いたい考え方

▶ p.194-195

### 4コマ漫画

単元まとめでは、学んだことのよさや考え方を振り返る**4コマ漫画**を設けています。巻末「算数のまとめ」では、6年間の学習を「4コマまんがギャラリー」で振り返ります。

**4コマまんがギャラリー**

○ 小数の表し方やしくみをふり返ってみよう。

○ 分母のちがう分数のたし算は、どのように考えたかな。

▲3年 小数のたし算、ひき算

▲5年 分数のたし算、ひき算

▶ p.202

# 3

## 生きて働く知識・技能の習得のために 学びと学びを系統的につなげる教科書

知識・技能は、一度で定着するものではありません。だから、確実な定着を図るために、既習事項を振り返りやすくしています。知識・技能を繰り返し用い、新しく学ぶことと既習事項を結びつけることで、理解が深まっていきます。

### 考えるヒント

単元まとめでは、各種学力調査でつまづきがみられる問題に対して「考えるヒント」を掲載して、丁寧に指導・支援にあたれるようにしています。

3 下の④から②の式の文字aは、0でない同じ数を表しています。答えがaより小さくなる式はどれでしょうか。また、答えがaより大きくなる式はどれでしょうか。 ▶ p.16 ④

④  $a \times 1.5$     ①  $a \times 0.5$     ③  $a \div 1.5$     ②  $a \div 0.5$

3 考えるヒント 具体的に数をあてはめて考えよう

下の④から②の式の答えは、10より大きくなるでしょうか、小さくなるでしょうか。

④  $10 \times 1.5$     ①  $10 \times 0.5$     ③  $10 \div 1.5$     ②  $10 \div 0.5$

▲ p.19

### 学びのマップ

既習事項を巻末「学びのマップ」にまとめ、関連する単元からリンクし、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしています。

▶ p.258-271

# 4

## 学びに向かう力、人間性等の涵養のために 学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書

### 学び方を学ぶ

巻頭「算数をはじめよう！」で示した学習の進め方を、授業開き教材「不思議なパスカルの三角形」で実践してみます。主体的・対話的で深い学びの過程を共有することで、質の高い学び合いができる学級づくりに生かしていけます。

▲ p.2-9

### 何ができるようになるか

教科書全体で、活動の目的意識を大切にしています。単元導入の「きっかけ」ページ、単元末「学んだことを使おう」、学年末「算数を使って考えよう」などの数学的活動を通して、「何ができるようになるか」を実感しながら算数の学習に取り組めるようにします。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 文字を使った式	「不思議な計算」の仕組みについて問いをもち、追究する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.10～12
2 分数と整数のかけ算、わり算	友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.26～27
3 対称な図形	身のまわりの整った形の例示として伝統工芸品などを取り上げることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	p.34
4 分数のかけ算	友だちの考えを関連づけたり、自他の考えを比較してよりよい考えを見いだしたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.52～57
5 分数のわり算	友だちの考えを関連づけたり、自他の考えを比較してよりよい考えを見いだしたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.66～71
6 データの見方	図書委員会の活動として読書チャンピオンを決める題材を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	p.82
7 円の面積	円の面積について、正確な値が求められるように既習事項を活用して工夫する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.101～107
8 比例と反比例	友だちの考えを関連づけたり、自他の考えを比較してよりよい考えを見いだしたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.125～127
9 角柱と円柱の体積	缶が円柱形である理由の1つに環境への配慮があることを知り、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。(第4号)	p.145
10 比	比を活用して入学した時の身長が求められることに気づき、学んだことのよさを感じ得ることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.157
11 拡大図と縮図	縮図を活用して木の高さが求められることに気づき、学んだことのよさを感じ得ることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.170～171
12 並べ方と組み合わせ	並び方と組み合わせの学習が、実生活のさまざまな場面に活用できることに気づき、学んだことのよさを感じ得ることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.188～189
□ 算数を使って考えよう	なかよし集会の準備にあたり、学級目標「信頼される6の1」を達成するという目的をもって取り組む題材を通して、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p.192～195
巻頭・巻末	人工知能に関する話題を通して、「考える」ことの大切さに触れ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	表3

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### ○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

### ○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

### ○地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-145	小学校	算数科	算数	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 606	小学算数 6		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 1

## 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現

### 数学的活動

- 問題発見・解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!」のフキダシで示し、子どもの“問い”の連続によって学習を進めるスタイルを、授業展開の基本に据えました。第6学年では特に、既習と関連づけて統合的・発展的に考える活動を重視しています。
- 巻頭「算数をはじめよう!」では、このような算数の**学習の進め方を学級で共有**できるようにしています。(p.2~5)

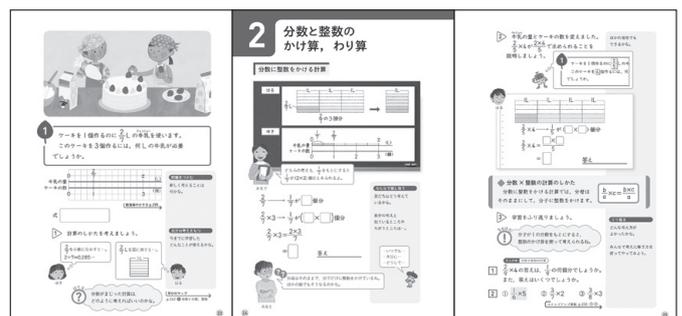


▲ p.4-5

- 単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、**目的意識をもって数学的活動に取り組める**ようにしています。また、単元末「学んだことを使おう」では、単元で学習したことを日常場面に活用することで、「**何ができるようになったのか**」を実感できるようにしています。(p.116, p.136, p.149, p.157等)

### 主体的・対話的で深い学び

- 主体的・対話的で深い学びのモデル**となる授業展開を掲載しています(学年2回)。子どもの“**はてな?**”から学習めあてをつくり、学び合いを通して“**問い**”を深め、解決に用いた見方・考え方を振り返って“**なるほど**”にまとめ、さらに、新たな“**問い**”へとつなげていきます。(p.23~25, p.125~127)



▲ p.23-25

# 2

## 思考力・判断力・表現力の育成

### 数学的な見方・考え方

- 「算数で使いたい考え方」として、単純化、一般化、統合、発展といった**数学的な考え方を子どもの言葉**で示し、学び合いに使っていただけるようにしています。(p.6)
- 「算数のミカタ」として、**各領域を貫く数学的な見方**にも着目できるようにし、以降の学習で繰り返し用いていきます。(p.57, p.108, p.258～259等)
- 答えを求めて終わりではなく、新たな問題発見につなげる学び（**「なるほど」から「だったら？」**）によって、**統合的・発展的に考察する力を**養います。(p.55, p.143等)
- 単元まとめでは、学んだことの**よさや考え方を振り返る4コマ漫画**を設け、単元や領域を貫く**数学的な見方・考え方を意識づけ**、学びをつなげていきます。(p.47, p.64等)

### 言語活動と学び合い

- 友だちの発表に対して質問したり付け足したりする**フキダシ**を示し、**学びを深める話し合い**ができるようにしています。(p.24, p.71等)

### ノート指導

- 友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を設け、**学び合いを通してノート指導**ができるようにしています。(p.26～27, p.128～129)

### 統計的な見方・考え方

- 統計的な問題解決に関わる活動では、データの収集や分類整理、考察などの過程において、活動の**目的意識**を大切にしています。また、**統計的探究プロセス**についても理解を図り、そのよさを感じて、他教科や実生活に活用していただけるようにします。(p.82～97等)

### B問題への対応

▶ p.94-95

- 全国学力・学習状況調査のB問題を踏まえ、**単元末と学年末の2段階で活用問題**を設けています。学年末「算数を使って考えよう」では、複数の学習内容にまたがる総合的な活用問題を設定し、問題把握、見通し、実践、評価・改善といった一連の問題解決を通して、筋道を立てて考え表現する力を育成します。(p.192～195)
- **B問題で課題がみられる記述式問題**について、他者の説明をもとに場面や数値を発展させて説明し直したり、不十分な説明を修正・改善したりする活動を取り入れ、筋道を立てて説明する力を育てるようにしています。(p.194)

**身のまわりのデータを活用しよう**

- ① テーマを見つける
  - ・疑問に思ったことなど、明らかにしたい問題を定める。
- ② 計画を立てる
  - ・どんなデータを、どのように集めるとよいか考える。
  - ・調べたいデータによって、データの集め方も変わってくる。
- ③ データを集めて整理する
  - ・データを集めて、目的に合った情報を選んだり、見やすく整理したりする。
- ④ 分けきする
  - ・目的に合わせて表やグラフに表したり、データの持ちようをよまったりする。
- ⑤ 結論をまとめる
  - ・集めたデータをもとに、問題に対する結論をまとめる。
  - ・似た問題が出たときも、もう一度計画を立ててデータを集めよう。

**分けきして、代表を決めよう!**

見つける

氏名の字とびらで各学年が活躍するために、1組と2組の誰を学年代表にするかよいかを決めます。

分けきする

このデータをどうして活用しようか、という目的をたて、データをどう集めようか、という計画を立て、実際にデータを集め、整理して、表やグラフに表したり、データの持ちようをよまったりする。

結論をまとめる

集めたデータをもとに、問題に対する結論をまとめる。

似た問題が出たときも、もう一度計画を立ててデータを集めよう。

**算数を使って考えよう**

【学習目標】

- ① みなさんは代表委員です。6年1組の35人に、学年目標がどれくらい達成できていると思うか、10段階で点数をつけてもらいました。下のドットプロットは、その結果です。

**学年目標の達成度調べ (6年組 35人)**

上のデータの平均値、最小値、中央値を求めましょう。また、この結果から、学年目標は達成できているといえるかどうか、自分の考えを書きましょう。

平均値	
最小値	
中央値	

では、6点と答えました。全体の中で、ゆきさんの点数は低いほうか、高いほうでしょうか。アの代表委員を使って、理由も説明しましょう。では、「達成できている」という意見です。ですが聞いていることを、割合を使って説明しましょう。

学年目標が達成している人は、全体の何割かです。

学年目標が達成していない人は、全体の何割かです。

学年目標を3つのこう目に分けて、もう一度とりました。その結果、「しんらいされる6の1」のどであると思う人が多くなったことがわかりました。

算数を使って、自分の考えを書きましょう!

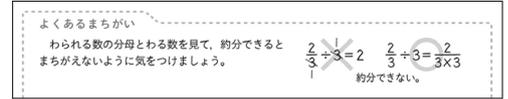
▶ p.192-193

# 3

## 生きて働く知識・技能の習得

### つまづきやすい問題の意識化

- 単元まとめでは、各種学力調査でつまづきが見られる問題に対して「考えるヒント」を掲載し、丁寧に指導・支援にあたるようにしています。(p.19, p.113等)
- 脚注コラム「よくあるまちがい」では、誤答例を示すことにより、正しい理解が得られるようにしています。(p.31, p.38等)



▲ p.31

### 基礎的・基本的な知識・技能

- 巻末の練習問題「ステップアップ算数」は「きほんの問題」と「ジャンプ問題」で構成し、個に応じた、主体的に家庭学習に取り組めるようにしています。(p.232～245)

### 知識・技能をつなげる工夫

- 既習事項を巻末「学びのマップ」にまとめ、関連する単元からリンクし、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしています。(p.258～271)

# 4

## 学びに向かう力、人間性等の涵養

### 学び方を学ぶ

- 巻頭「算数をはじめよう！」で示した学習の進め方を、授業開き教材「不思議なパスカルの三角形」で実践してみます。主体的・対話的で深い学びの過程を共有することで、質の高い学び合いができる学級づくりに生かしていけます。(p.7～9)

### もっと学びたい意欲に応える

- 知的好奇心に応える特設教材やコラムを随所に設けています。(p.178～179, p.188等)
- 巻末「広がる算数」では、子どもの興味・関心を刺激し、自ら学習を広げる探究的な話題を掲載しています。(p.246～250)



▶ p.247

### 何ができるようになるか

- 教科書全体で、活動の目的意識を大切にしています。単元導入の「きっかけ」ページ、単元末「学んだことを使おう」、学年末「算数を使って考えよう」などの数学的活動を通して、「何ができるようになるか」を実感しながら算数の学習に取り組めるようにします。

# 5

## その他の配慮事項

### 中学校との接続・連携

- ・学年末「算数のまとめ」では、6年間の総復習をします。見方・考え方を振り返る「4コマまんがギャラリー」も設け、基礎・基本をしっかりと身につけて卒業できるようにします。(p.200～215)
- ・「開け！算数ワールド」では、算数の学習をもとに数学へと発展させる話題などを掲載し、興味・関心を高めながら、**中学校の学習へと自然に接続**します。(p.216～230)

### 他教科等との関連

- ・他教科や学校の活動と関連した場面を題材として用いるように配慮し、**必要感をもって学習に取り組めるように**しています。(p.40, p.82等)
- ・友だちと学び合い、互いのよさを認め合うなど、**道徳科との関連**を図っています。(p.26～27等)

### 個に応じた指導，家庭学習

- ・家庭学習のページ「ステップアップ算数」は、**2段階のレベルで問題を構成**し、理解の程度に応じて取り組めるようにしています。(p.232～245)
- ・単元まとめでは、「ふり返ろう（知識）」と「たしかめよう（技能）」に分けて、学習内容を簡潔にまとめているので、家庭学習等でも振り返りやすくなっています。また、「考えるヒント」は、**つまずきがちな子どもへの丁寧な指導・支援**として効果的です。(p.18～19, p.78～79等)
- ・進度が早い児童が取り組める問題や、**知識を広げる話題**などを、脚注コラム「センスアップ」や「算数メモ」、「算数ミニクイズ」で紹介しています。(p.75, p.111等)

### 特別支援・ユニバーサルデザイン

- ・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用により、**すべての児童にとって学びやすい紙面づくり**に配慮しています。

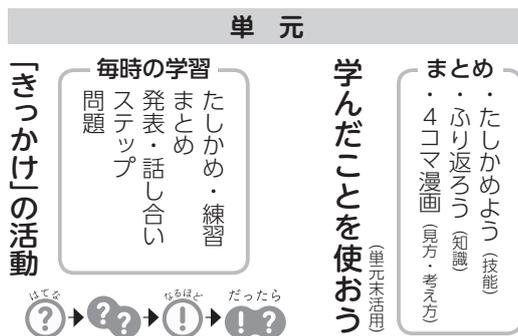
### コンピュータなどの活用

- ・**「話げり」**を付けたところでは、**デジタルコンテンツを活用**して効果的に学習ができるようにしています。(p.85「ドットプロットツール」、p.106「円の面積の求め方」等)

### 教科書の構成

算数をはじめよう！

- ・学習の進め方
- ・算数で使いたい考え方
- ・不思議なパスカルの三角形(授業開き教材)



ふくしゅう

算数ワールド(特設教材)

算数を使って考えよう(学年末活用)

学年のまとめ

算数のまとめ

開け！算数ワールド

自分で取り組むページ

- ・教科書に出てきた言葉
- ・学びのマップ(既習内容のまとめ)
- ・学びの手引き(図のかき方等)
- ・広がる算数(探究的な話題)
- ・ステップアップ算数(家庭学習)

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 文字を使った式	A (2) ア (ア) A (2) イ (ア)	p.10 ~ 19 p.10 ~ 19	6
2 分数と整数のかけ算, わり算	A (1) ア (ア) A (1) ア (イ) A (1) ア (ウ) A (1) イ (ア)	p.22 ~ 25, p.29 ~ 31 p.22 ~ 33 p.22 ~ 25, p.29 ~ 31 p.22 ~ 33	7
3 対称な図形	B (1) ア (イ) B (1) イ (ア)	p.34 ~ 48 p.34 ~ 48	11
4 分数のかけ算	A (1) ア (ア) A (1) ア (イ) A (1) ア (ウ) A (1) イ (ア)	p.52 ~ 57 p.52 ~ 65 p.52 ~ 62 p.52 ~ 65	11
5 分数のわり算	A (1) ア (ア) A (1) ア (イ) A (1) ア (ウ) A (1) イ (ア)	p.66 ~ 71 p.66 ~ 79 p.66 ~ 74 p.66 ~ 79	12
6 データの見方	D (1) ア (ア) D (1) ア (イ) D (1) ア (ウ) D (1) イ (ア)	p.82 ~ 86, p.98 ~ 99 p.87 ~ 93, p.98 ~ 99 p.94 ~ 97 p.82 ~ 99	11
7 円の面積	B (3) ア (ア) B (3) イ (ア)	p.100 ~ 113 p.100 ~ 113	9
8 比例と反比例	C (1) ア (ア) C (1) ア (イ) C (1) ア (ウ) C (1) イ (ア)	p.116 ~ 124, p.137 ~ 138 p.125 ~ 129, p.136 p.130 ~ 135, p.137 ~ 138 p.116 ~ 138	12
9 角柱と円柱の体積	B (4) ア (ア) B (4) イ (ア)	p.140 ~ 147 p.140 ~ 147	6
10 比	C (2) ア (ア) C (2) イ (ア)	p.149 ~ 159 p.149 ~ 159	9
11 拡大図と縮図	B (1) ア (ア) B (1) イ (ア)	p.160 ~ 173 p.160 ~ 173	10
□ およその面積と体積	B (2) ア (ア) B (2) イ (ア)	p.174 ~ 176 p.174 ~ 176	2
12 並べ方と組み合わせ	D (2) ア (ア) D (2) イ (ア)	p.180 ~ 191 p.180 ~ 191	8
		計	114

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-145	小学校	算数科	算数	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 606	小学算数 6		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
109	葉4 右のような図形の面積の求め方を考えましょう。(半径が15cm, 中心角が60°のおうぎ形の図)	1	B (3) ア (ア) 円の面積の計算による求め方について理解すること。 上記に関連して、おうぎ形を円の一部とみて面積を求める活動を通して、円の面積についての理解を深める。	0.5
135	反比例のグラフ	1	C (1) ア (ウ) 反比例の関係について知ること。 上記に関連して、反比例のグラフがなめらかな曲線になることを知ること、比例と反比例のグラフの特徴の違いについて理解を深める。	0.75
145	学んだことを使おう	1	D (1) イ (ア) 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解すること。 上記に関連して、立体の周りの面積を表面積ということを知り、体積が等しい角柱と円柱の表面積を比べることを通して立体の表面積について理解を深める。	1
146	面を動かしてできる立体	1	B (4) ア (ア) 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解すること。 上記に関連して、角柱、円柱について、面を垂直方向に動かしてできる立体という見方ができることを知る。	0.25
217	0より小さい数	1	目標 (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、0より小さい数の意味や表し方について知り、整数についての見方を広げる。	1
218	方眼にかいた正方形	1	目標 (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、方眼にかいた正方形の1辺の長さを求める活動から、無理数の存在に気づかせ、数についての見方を広げる。	1
219	直角三角形のひみつ	1	目標 (2) (前略)、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、辺の長さが3cm, 4cm, 5cmの直角三角形の各辺を1辺とする正方形の面積について調べる活動から、直角三角形の性質に気づかせ、図形についての見方を広げる。	1
220	平方や立方のなかま	1	目標 (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、正方形の面積や立方体の体積を求める乗法の式から、平方、立方の意味や指数を用いた数の表し方を知る。	1
221	さいころの目の出やすさ	1	D (2) ア (ア) 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知ること。 上記に関連して、2つのさいころの目の出方を表を使って調べる活動を通して、事柄の起こりやすさを表すことについて見方を広げる。	1
230	国でちがう数の表し方	2	目標 (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、日本語と英語の数の表し方を比べ、数の構成とその表し方について理解を深める。	1
250	安全なパスワードを考えよう!	1	D (2) ア (ア) 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知ること。 上記に関連して、実社会で用いられるパスワードや暗証番号の安全性を考えると、起こり得る場合を整理する考え方が活用できることを知る。	1
合 計				9.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容